

京都工芸繊維大学

OPEN CAMPUS 2016

オープンキャンパス

Open Campus

KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

8/7Sun - 8/8Mon
OPEN CAMPUS 2016

SEVEN
BOOK

KYOTO
INSTITUTE OF
TECHNOLOGY

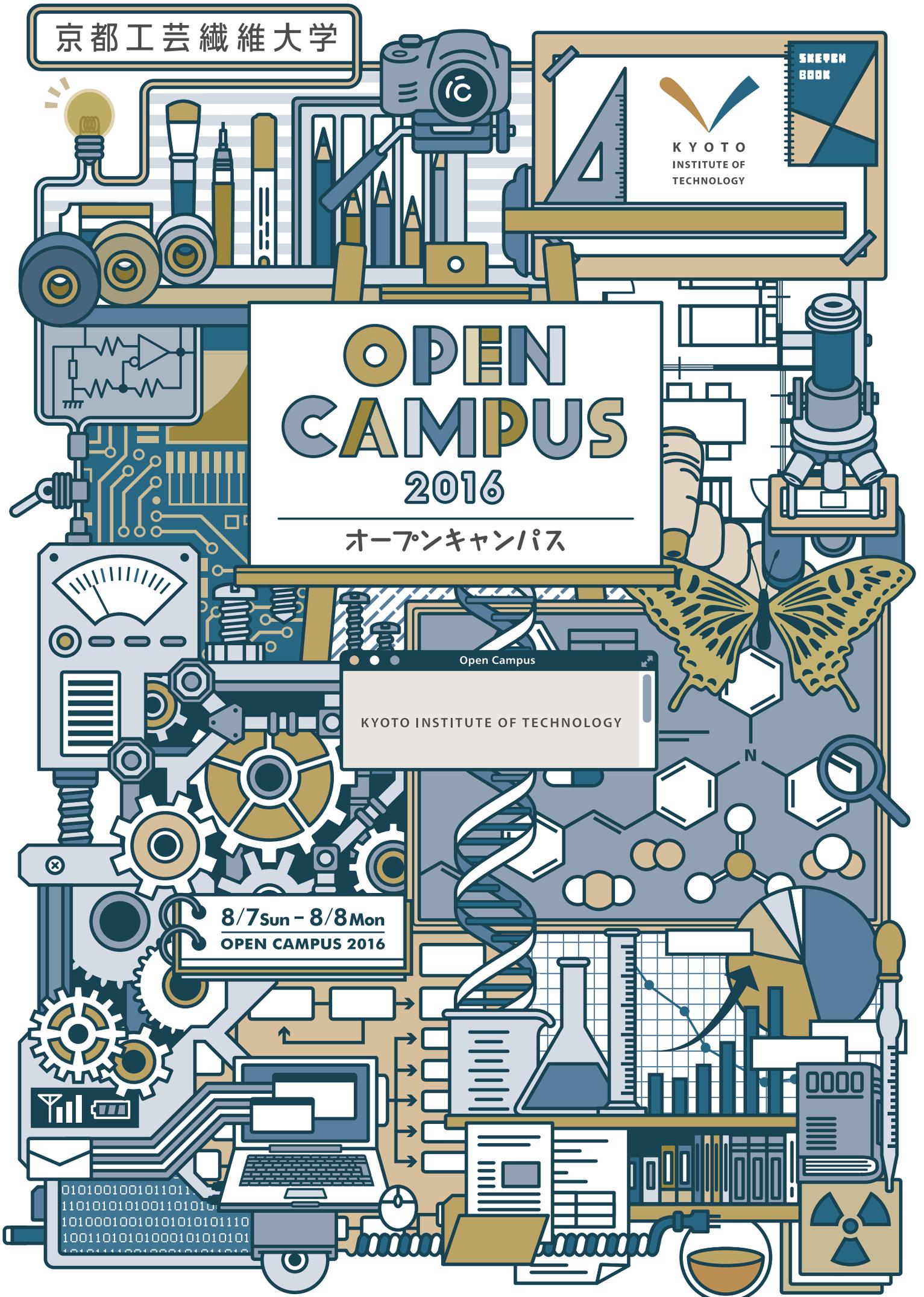
Open Campus

KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

8/7Sun - 8/8Mon
OPEN CAMPUS 2016

SEVEN
BOOK

KYOTO
INSTITUTE OF
TECHNOLOGY





目 次

京都工芸繊維大学オープンキャンパス2016へ、ようこそ	1
I. 本日のプログラムのご案内	2
開催日時・タイムテーブル	
受付	
1. 全体説明会	
2. 課程等説明会、公開研究室見学	
3. 個人相談コーナー・ダビンチ(AO)入試相談コーナー	
4. 施設見学	
5. 協賛イベント	
II. 建物配置図	6
III. 公開研究室インフォメーション	
生命物質科学域	
① 応用生物学課程	8
② 生体分子応用化学課程(応用化学系)	9
③ 高分子機能工学課程(応用化学系)	10
④ 物質工学課程(応用化学系)	11
設計工学域	
⑤ 電子システム工学課程	12
⑥ 情報工学課程	13
⑦ 機械工学課程	14
⑧ デザイン経営工学課程	15
造形科学域	
⑨ デザイン・建築学課程	16
地域創生 Tech Program	17
学生と教員の共同プロジェクト事業紹介	18
授業成果紹介	19
個人相談コーナー 受付カード	

京都工芸繊維大学 オープンキャンパス2016へ ようこそ



京都工芸繊維大学長 古山 正雄

京都工芸繊維大学は、1200年の歴史を持ち、日本の文化、芸術、科学の中心である京都の地において、社会に新しい価値を生み出す「ものづくりの精神」に加え、科学と芸術の融合をめざす「知と美の融合」、また「人間と自然の調和」を理念に掲げ、教育・研究活動を行っています。

本学は、様々な特色ある教育プログラムを展開しています。教養教育では、本学と京都府立大学、京都府立医科大学の3大学連携による教養教育科目を共同開講し、幅広い授業科目を提供するとともに、京都の地域的、歴史的、文化的特色を生かした授業科目や3大学の学生間での交流や討論を実施する授業科目も開設しています。専門教育では、地元企業と連携し、ものづくりの企画設計から生産までを実習やインターンシップを通じて体験するプログラムや、大学を飛び出して国内外の研究機関、美術館、まちづくりの実践現場でのフィールド実習により建築の活用・再生を学ぶプログラムなど、様々な実践的な教育プログラムを提供しています。

そして、本学は、今まさに、京都から世界に向かって羽ばたこうとしています。平成26年度より10年間に渡るキャンパス全体の国際化を推進しています。学生の皆さんが海外に留学する機会やキャンパス内で外国人と共に学ぶ機会が、飛躍的に増えることとなります。是非、これらを通じて、自らの新たな可能性を発見し、高めていただきたいと思います。

また、学部・大学院の一貫教育にも取り組んでいます。学部4年次生に博士前期課程の授業科目を提供することにより、実質的な博士前期課程3年間で構成し、6年一貫での充実した教育を行います。

さらに、今年度より学部共通プログラムとして「地域創生Tech Program」を開設しました。本プログラムでは、松ヶ崎キャンパスでの学習のほかに、福知山キャンパスにおいて地域課題解決型学習(PBL)や地元企業・海外でのインターンシップを中心に、実践的・能動的な学習に取り組めます。

このように、京都工芸繊維大学は、皆さんが様々なことにチャレンジできる環境が整っています。このオープンキャンパスで、京都工芸繊維大学の現在を感じてください。そして、その中から、皆さんの学びへの動機や成長の糧を見つけてください。この機会が、皆さんが将来大きく成長するための道標となることを期待しております。

I. 本日のプログラムのご案内

開催日時・タイムテーブル 平成28年8月7日(日) 8日(月) 9:30~16:30

	全体説明会	課程等説明	研究室見学	個人相談	施設見学
9:30					
10:30					
11:00					
11:30					
12:00					
12:30					
13:30					
14:30					
15:00					
15:30					
16:00					
16:30					

※各種イベント実施場所については6・7ページの「建物配置図」をご覧ください。

※施設見学は各施設によって開館時間が異なります。詳しくは4ページをご覧ください。

受 付

本日用意いたしました資料は、次のとおりです。

- ① オープンキャンパス パンフレット (本冊子)
- ② 大学案内2017
- ③ 平成29年度入学者選抜要項
- ④ 平成29年度ダビンチ (AO) 入試学生募集要項
- ⑤ 平成28年度入試情報
- ⑥ 学生による大学紹介パンフレット
- ⑦ 大学広報誌 KIT NEWS 42号
- ⑧ アンケート用紙 (2種類)

◇アンケート用紙は、お帰りの際に受付のアンケート回収箱へお入れください。

*上記以外に、本学に関する各種資料を受付や個人相談コーナー付近に置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。

*本日のご来学の記念として、本学オリジナルの記念品を同封しております。是非ご使用ください。

1. 全体説明会 9:30~10:30/13:30~14:30〔場所：センターホール (建物番号①)〕
 本学の教育体制および教育内容等について説明いたします。
 ○学長/学部長挨拶
 ○教育体制および教育内容等について
 ○入試体験談・学生生活状況紹介

2. 課程等説明会、公開研究室見学 11:00~12:30/15:00~16:30

- ・ 全体説明会ご参加の方はそのままご希望の課程等説明会会場に誘導いたします。その他の方は会場に直接お越しください。
- ・ 課程等説明会終了後は、公開研究室の見学にご案内いたします。
- ・ 研究室によっては、公開の研究室であっても、取り扱いに注意を要する機器や試薬等が置いてある場合がありますので、ご注意頂くとともに、担当者の指示に従ってください。

○生命物質科学域

応用生物学課程…………… 3号館0311 講義室 (建物番号③)

応用化学系…………… 3号館0331 講義室 (建物番号③)

(生体分子応用化学課程・高分子機能工学課程・物質工学課程)

○設計工学域

電子システム工学課程…………… 3号館0312 講義室 (建物番号③)

情報工学課程…………… 1号館0111 講義室 (建物番号②)

機械工学課程…………… 3号館0321 講義室 (建物番号③)

デザイン経営工学課程…………… 1号館0121 講義室 (建物番号②)

○造形科学域

デザイン・建築学課程…………… センターホール (建物番号①)

○地域創生 Tech Program

地域創生 Tech Program …… 3号館0313 講義室 (建物番号③)

3. 個人相談コーナー・ダビンチ (AO) 入試相談コーナー 10:30~16:30

〔場所：60周年記念館2階大セミナー室 (建物番号⑤)〕

各課程の教員および本学職員が、ひとりひとりのご相談にお答えします。
 60周年記念館2階大セミナー室へ直接お越しください。

- *相談内容の例 各課程・専攻の教育研究内容、入学者選抜方法、授業科目の履修方法とカリキュラム、取得できる資格、授業料の免除制度、奨学金制度、学生寄宿舍(寮)、クラブ活動、留学制度、外国人留学生の受け入れ 他

4. 施設見学

次の各施設をご覧くださいことができます。

「建物配置図」(6・7ページ)をご覧ください、ご希望の施設へ直接お越しください。

■情報科学センター (建物番号⑦)

本学の教育研究をサポートする最先端のコンピュータシステムをご覧ください。

*開館時間 9:30~16:30

■美術工芸資料館 (建物番号⑥)

以下の展覧会を開催しております。ぜひご覧ください。(入場無料)

*開館時間 9:30~16:30 (受付16:00まで)

◇展覧会「チェコのグラフィックデザイン

—ポスターとマッチラベルを中心に—

チェコスロヴァキア時代のポスターと当時の日用必需品であったマッチのラベルを一挙公開します。社会主義体制下におけるチェコスロヴァキアでは、演劇や映画、展覧会、コンサートなどを告知するためのポスターが多く作られました。そこではポスター作家たちが広告対象を自由に解釈し、イラストやカラーージュ、フォトモンタージュなどの技法を用いて生き生きと表現しています。また、同時代に作られたマッチラベルは素朴な図柄と美しい色彩、種類の豊富さが多くの蒐集家たちを魅了してきました。

◇展覧会「学業から職業へ

—京都高等工芸学校と京都市立美術工芸学校の図案教育Ⅲ

2014年度「浅井忠・武田五一と神坂雪佳—京都高等工芸学校と京都市立美術工芸学校の図案教育Ⅰ—」、2015年度「“做う”から“創る”へ—京都高等工芸学校と京都市立美術工芸学校の図案教育Ⅱ—」に続く連続展覧会企画の3回目最終回。今回は、昭和前期(戦前期)を対象として、京都の図案教育とその成果の一側面を見ていきます。

■附属図書館 (建物番号⑧)

入学後に学習や研究を進めていくための空間を体験し、蔵書の数々を手にとりご覧ください。「本学の図書館ならではの」所蔵資料の展示も行います。また休憩場所としてもご利用いただけます。

*開館時間 9:00~17:00

◇アフリカを体験しよう!

図書館1階 谷川俊太郎ラジオコレクションの部屋

8月7日(日) 12:00~17:00

8月8日(月) 12:00~17:00

図書館1階にあるグローバルcommonsは、「多言語・多文化」がコンセプトの学びのエリアです。現在アフリカンフェアを開催中です。アフリカの衣装、言葉を知って、アフリカの人と話してみませんか?

■ものづくり教育研究センター (建物番号⑨)

各種工作機械・設備を集中管理し、共同利用施設として教育および研究を加工・工作機能の面から支援するとともに、学内外の教育者・研究者・技術者との連携を図っており、多くの機械を備えています。

*開館時間 8月7日(日) 10:30~13:30 14:30~16:30

※8月8日(月)は見学を行っておりません。

5. 協賛イベント

◇学生と教員の共同プロジェクト事業の紹介

学生フォーミュラ参戦プロジェクト、ROBOCON挑戦プロジェクトを紹介しています。詳しくは、18ページをご覧ください。

◇授業成果紹介

情報工学専攻・デザイン経営工学専攻・デザイン学専攻の横断授業「フィジカルインタラクションデザイン」の成果をデモ展示します。詳しくは19ページをご覧ください。

◇キャンパスツアー

現役の学生がキャンパス内を案内して、大学の施設や学生生活についてご紹介します。センターホール前広場にて随時受け付けています。また、スタンプラリーも実施しています。

*受付時間 9:30~17:00

◇学生相談会

60周年記念館2階セミナー室（建物番号⑤）では、皆さんの入学後の学生生活に関する様々な疑問・質問について、本学学生（生活協同組合学生委員）が、体験を基に個別に相談に応じる相談会を実施しています。また、教科書や授業で制作した課題も展示しています。

*学生相談会の受付時間 9:30~16:45

◇グループディスカッション体験会

東3号館1階（建物番号④）では、AO入試で採用しているグループディスカッションという学生同士の討論を行う入試形態を模擬的に体験できます。

*実施時間 第一部/12:00~13:00、第二部/15:40~16:40

◇京都北山やままゆ塾「ミニ昆虫展」

15号館1階（建物番号⑭）では、写真と標本、そして生体の展示から虫たちの世界を知ることのできる「ミニ昆虫展」を開催中です。

*開催時間 10:00~17:00（入室は16:30まで）

◇学食・売店・休憩コーナー

「KIT HOUSE（建物番号⑪）」1階カフェテリアと「大学会館（建物番号⑫）」1階アルスでは、食事や休憩をとっていただくことができます。また、KIT HOUSEの売店（KITショップ）では、お弁当や飲料の販売をしております。

*営業時間

KIT HOUSE 11:00~14:30

アルス 11:30~14:00

KIT SHOP（売店） 10:00~17:00

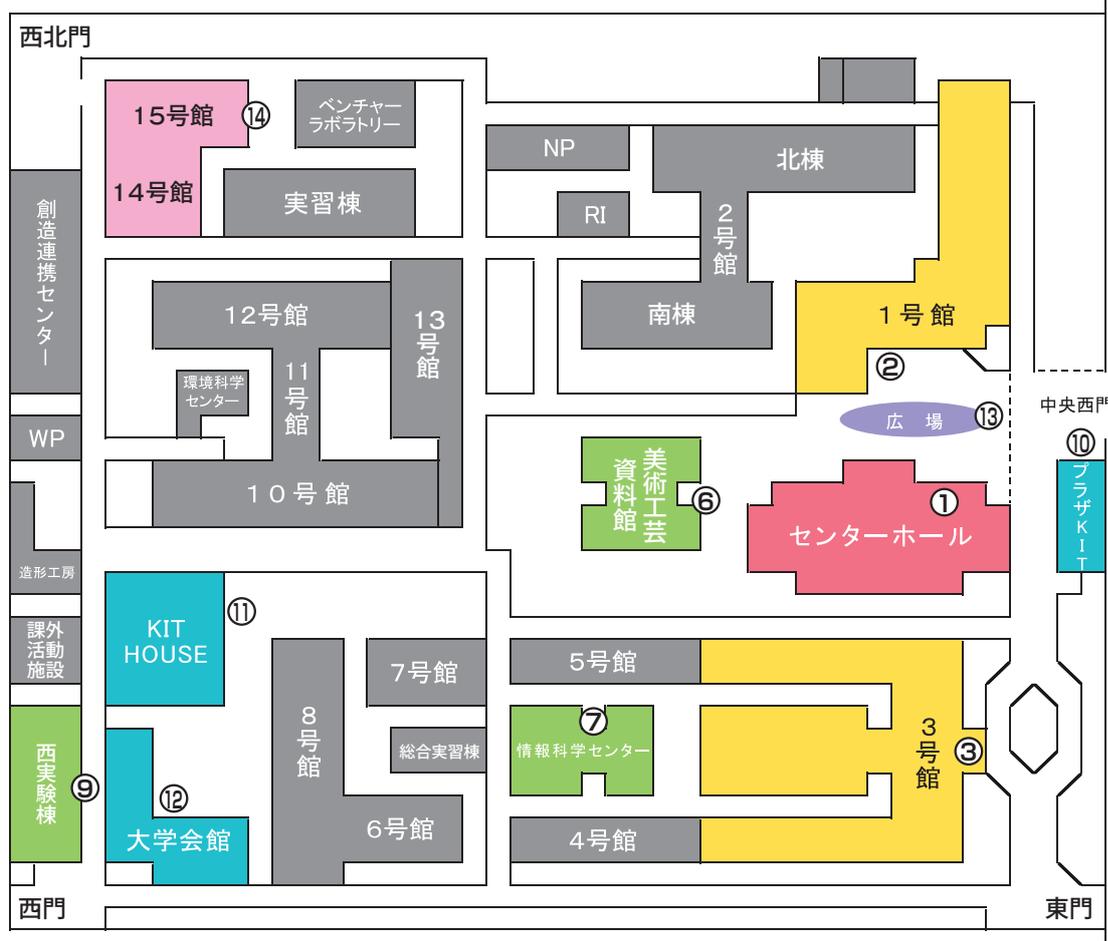
学食は、営業時間外でも休憩場所としてご利用いただけます。

II. 建物配置図

←至 京都市営地下鉄 松ヶ崎駅

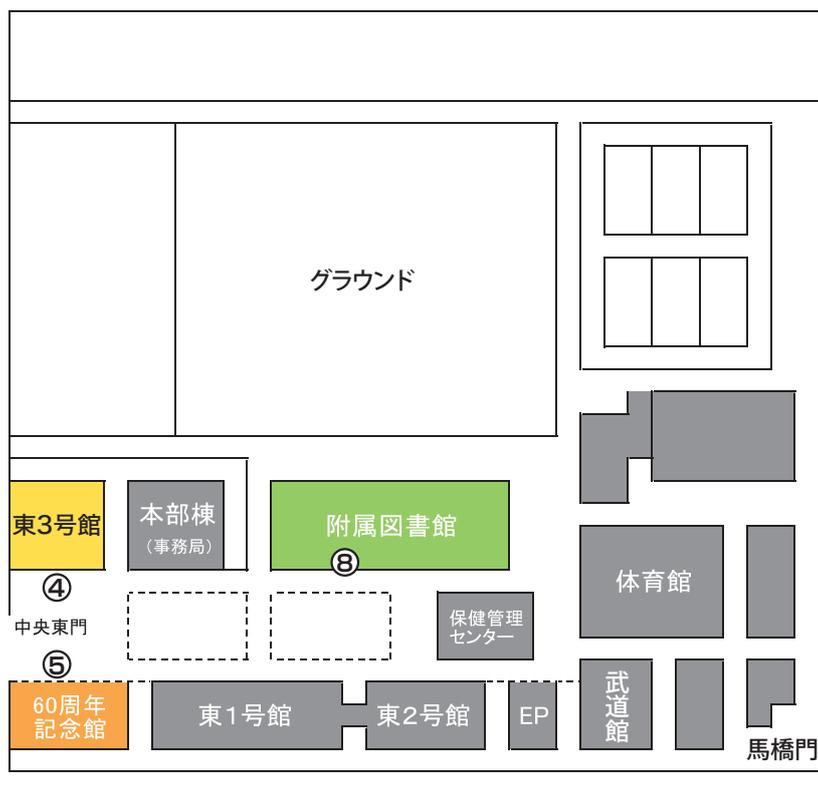
北山通り

京都工芸繊維大学 建物配置図



建物名	開催内容
① センターホール 1F	全体説明会(大ホール)・受付
	デザイン・建築学課程説明会(大ホール)
	ROBOCON挑戦プロジェクト(大会議室)
② 1号館 1F	情報工学課程説明会(O111講義室)
	デザイン経営工学課程説明会(O121講義室)
③ 3号館 1F	応用生物学課程説明会(O311講義室)
	電子システム工学課程説明会(O312講義室)
	地域創生 Tech Program 説明会(O313講義室)
	機械工学課程説明会(O321講義室)
	応用化学系説明会(O331講義室)
	(生体分子応用化学、高分子機能工学、物質工学)
④ 東3号館 1F	「フィジカルインタラクションデザイン」授業成果デモ展示(K101講義室)
	グループディスカッション体験会(エントランスほか)

建物配置図



建物名	開催内容
⑤ 60周年記念館 2F	個人相談コーナー、AO入試相談コーナー 学生相談会
⑥ 美術工芸資料館	施設見学
⑦ 情報科学センター	施設見学
⑧ 附属図書館	施設見学・休憩コーナー
⑨ 西実験棟 1F	施設見学(ものづくり教育研究センター)
⑩ プラザKIT	休憩コーナー
⑪ KIT HOUSE 1F	食堂・休憩コーナー
KIT ショップ 2F	売店
⑫ 大学会館 1F	食堂・休憩コーナー
⑬ 広場	学生フォーミュラ大会参戦プロジェクト キャンパスツアー受付
⑭ 15号館 1F	京都北山やままゆ塾「ミニ昆虫展」

Ⅲ. 公開研究室インフォメーション

公開研究室の名称・内容を以下に簡単に紹介します。

生命物質科学域

応用生物学課程

社会や環境に関わる重要課題の解明に、バイオテクノロジーを的確に活用できる力を養います。

生物学と生物化学の基礎から応用に至るまでを学びます。実践的で多様なカリキュラムを通して、生命と自然に対する豊かな感性を育むとともに、生物資源や地球環境に関わる重要課題の解明に向けて、バイオテクノロジーを的確に活用できる能力を養います。また、豊かな自然環境に恵まれた嵯峨キャンパス内に広大な圃場（畑）や世界最先端の研究施設を擁しているのも、本課程ならではの特徴です。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 1階 0311講義室 (建物番号③)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

昆虫生理機能学研究室 2号館 2階 249号室

昆虫の優れた機能に着目し、色彩関連分子の生理機能や変態期のリサイクルシステムの分子機構の解明、カイコ精子成熟カスケードの解明や絹糸腺組織抽出液を用いた新規無細胞タンパク質合成系の構築などを行っています。

微生物工学研究室 2号館 3階南棟 340号室、341号室、342号室

微生物工学研究室では、微生物や微生物酵素の生理機能、発現調節機構、触媒機構を明らかにすることを目的とした基礎的研究と、食品、医薬、環境などの分野に役立てることを目的とした応用研究を行っています。

生体分子機能学研究室 2号館 5階 545号室

「炎症反応」や「免疫応答」は生体防御機構として重要です。私達の研究室では、がんや自己免疫疾患等の治療薬の開発に貢献することを目的として、炎症反応や免疫応答に関連した「細胞の情報伝達」や「遺伝子発現の調節」の複雑な仕組みの解明に取り組んでいます。

構造生物学研究室 2号館 3階 347号室、333号室

構造生物学研究室では、生命現象に重要な役割を果たしているタンパク質や病気に関係するタンパク質の立体構造を調べています。特に、寄生虫感染症の治療薬を開発するため、寄生虫の生存に必須なタンパク質の働きを止める阻害剤を設計することが重要な研究テーマです。

生命物質科学域

生体分子応用化学課程 **応用化学系**

光合成や生分解、タンパク質生成など、生体が有する機能を分子レベルで化学的に理解・応用できる技術者を育てます。

生体分子応用化学は、化学の「言葉」を用いて生体分子と対話する教育研究領域です。生体を持つ機能を分子レベルで化学的に理解し、その機能を化学的に応用することで、人類に役立つ物質やシステムの開発に貢献できる技術者の育成を目指しています。国内外に数多くある類似した名前の学科の中でも、本課程のように化学的思考を前面に打ち出した教育施設は、他に類を見ないものといえるでしょう。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 3階 0331講義室 (建物番号③)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

生体高分子情報研究室 2号館 3階 315号室

我々の研究室では、血液中を流れる『マイクロRNA』を利用した『早期がん診断法』の開発や、がん遺伝子の活性のみを抑制する『核酸ドラッグ』の開発を通じて、医療現場へ貢献することのできる研究を進めています。

分子構造化学研究室 2号館 1階 105号室

タンパク質や核酸の三次元構造や分子間の相互作用などについて、NMR分光法、ESR分光法、分子軌道法、分子動力学計算などを組み合わせて解析し、生理活性を示す化合物が、どのようにして、その機能を発揮しているかを解明する研究を行っています。

生体分子機能化学研究室 2号館 2階 229号室

生命の化学「生物化学」は、生体分子を取り出し、その構造と機能を調べることによって、生命現象を説明するものです。生物化学の手法を駆使し、シックハウス症候群の発症機構の解析、感染症抑制法の開発などを行っています。

高分子有機化学研究室 2号館 5階 503号室、516号室

当研究室では、再生可能資源から合成可能な新しい高分子材料の開発についての研究と有機化合物間に働く相互作用に基づく分子識別作用を混合物の分離に応用する研究を行っています。

生命物質科学域

高分子機能工学課程 **応用化学系**

何万もの原子から構成される「高分子」。
新しい機能を備えた高分子材料の開発を目指します。

課程名にある「機能」は、物質が持つ様々な性質の中でも、特に人の生活に役立つものを意味しています。新しい物質を創り出し、それが持つ性質を詳しく理解し、その知識に基づいて機能として磨き上げることで、初めて実現できるものです。高分子機能工学課程では、これらの段階の全てをカバーする教育研究を通して、新しい機能を備えた高分子材料の開発を目指しています。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 3階 0331講義室 (建物番号③)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

繊維高分子力学研究室 2号館北 2階 225号室

プラスチックやゴムは、固体でありながら液体の性質を併せ持つという特徴をもつ。こういった特徴は材料の化学構造や高次構造に由来している。こうした観点から、プラスチック・ゴム材料の内部構造と力学物性の関係を探る研究を行っている。

繊維製品設計研究室 2号館 3階 327号室、328号室、329号室

1. 液晶複合体の研究、2. エレクトロレオロジー、3. ナノ粒子複合系 - 粒子の分散・凝集と諸特性の制御、4. 高分子ナノファイバーの創製およびその新機能発現、5. ナノフィラー分散系材料、ならびに炭素繊維等の高強度繊維材料の力学的性質に関する研究を行っている。

高分子物性工学研究室 2号館 3階 320号室

当研究室では、ポリマーブレンド、ポリマー微粒子、さらには有機、無機、金属を組み合わせた多彩な材料設計を行い、光や超音波を用いた新しくユニークな方法で、その構造と機能の解明に取り組んでいます。

物性物理学研究室 2号館 4階 410号室

本研究室は、高分子を中心とした物質の性質を物理学的方法で調べ、理解することを目的としています。汎用の市販測定器ではなく、目的に最適な装置を開発して用いており、世界的に見て他の研究室では不可能な実験を行っています。

生命物質科学域

物質工学課程 応用化学系

化学をベースに物質について基礎から応用までを学び、豊かで持続可能な社会づくりに役立つ新材料の開発に挑戦します。

物質工学課程は化学をベースとした、「分子物質工学」と「材料物質工学」という2分野から構成されています。前者では、物質を形づくる元素の性質（原子・分子の構造や反応性など）を理解した上で、新しい物質の創製に挑みます。後者では、新たに創製した物質が持つ性質を解明し、それを人に有益な材料とするための方法を探ります。この2分野を深く学ぶことで、これからの社会に役立つ新材料の開発を目指します。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 3階 0331講義室 (建物番号③)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

有機フッ素化学研究室 11号館 2階 232、235号室

フッ素原子を含む分子は、とても興味深い機能を持っていますが、その合成法は大変難しく、未だ有効な手法は多くありません。我々の研究室では、フッ素原子の特異性を活かした新しい反応の開発を通じて、新しいフッ素含有医薬品・光学材料・高分子材料を開発する研究を行っています。

高温材料学 11号館 3階 1131号室

私たちの研究室はセラミック材料を対象に研究を行っています。セラミック材料は、金属材料、高分子材料とともに、私たちの生活の中でたいへん多く使われており、伝統的な陶磁器やガラスなどの他にも、ファイン・セラミックスと呼ばれるものは現在のハイテク社会を支える重要な材料です。

設計工学域

電子システム工学課程

日本の基幹産業を支えるエレクトロニクス分野で、「即戦力」として活躍できる人材育成を目指します。

電子システム工学課程では、エレクトロニクス分野の多くの技術に支えられた現代社会をより良い方向へと発展させるために、高度な専門知識はもとより、広い視野と豊かな創造性を備えた人材の育成を目指しています。教育研究の範囲は電気・電子工学を中心に、デバイス、通信、システム、エネルギー、制御など、現代社会の基盤となる幅広い分野にわたっています。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 1階 0312講義室 (建物番号③)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

固体電子工学Ⅰ研究室 6号館 1階 104号室

電力消費を低減するトランジスタや発振波長が安定化するレーザーダイオードなどの電子デバイスや、人工光合成への応用が期待される酸化半導体などの電子材料を、試作して性能を明らかにする研究を行っています。

固体電子工学Ⅱ研究室 西実験棟 1階 104号室

青色LEDなどで広く利用されている窒化物半導体結晶をベースにした新しい材料「マルチバンドギャップ物質」を開発し、太陽光を電流に変換する能力を利用した水素や糖を合成する「人工光合成デバイス」の実現を目指している。

電子回路工学Ⅰ研究室 5号館 3階 302号室

宇宙から降りそぞく中性子線、放射性不純物からの α 線などにより発生するソフトエラーと呼ばれる一時故障、ストレスにより、トランジスタの性能が経年劣化を起こす永久故障など、集積回路(LSI)の信頼性の研究を行っています。

電子回路工学Ⅱ研究室 5号館 3階 305号室

最近のスマートフォンやゲーム機器などの高性能化を支える基盤技術としてLSI設計技術が重要です。本研究室では、最先端LSIの設計を支援するシミュレーション技術およびモデリング技術の研究開発を行っています。

物性基礎工学研究室 9号館 3～4階 304、305、401、402号室

3階の実験室では、レーザー光を使用して非破壊・非接触で材料物性を計測する装置を紹介し、4階の実験室では、酸化半導体超伝導体の実験の一端を紹介し、110K以下で起こる永久電流状態を目前で確認して下さい。

設計工学域

情報工学課程

コンピュータ技術を基本に、通信、ネットワークなどの最新技術を、理論と実践の両面から修得。情報を介した豊かな未来を切り開きます。

情報工学課程では、現代社会のあらゆる場面を支えるコンピュータ技術を基本として、より豊かな高度情報化社会を実現するための情報、通信、ネットワーク、システム制御などの最新技術を理論と実践の両面から修得していきます。そのために、情報とコンピュータを理論的・体系的に扱うコンピュータ科学（CS）とともに、応用的な分野を扱うコンピュータ工学（CE）もカバーした教育研究を行っています。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
1号館 1階 0111講義室 (建物番号②)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

知能制御研究室 8号館 3階 304号室

本研究室では、所望の動作をするようにシステムを制御するための理論を研究しています。生物・生体に学ぶ・做う、あるいは制御するという趣旨で、生物・生体をシステムとして捉え、これらを対象とした理論も研究しています。

情報通信システム研究室 7号館 5階 503号室

私たちの研究室では、皆さんが持っている携帯電話やWi-Fi機器の packets 通信方式に関する研究や自動車において搭乗者に安全・快適さを提供するための自動車内のネットワークに関する研究を進めています。

ソフトウェア工学研究室 8号館 3階 302号室

本研究室ではソフトウェアに含まれる「バグ」の場所を推定する技法の開発に力を入れています。ソースコードの解析や深層学習による不具合の予測などを行っています。研究室紹介ではそうした技術について紹介したいと考えています。

ヒューマンインタフェース研究室 6号館 5階 502号室

情報機器をより使いやすくする新たなインタフェースの提案、情報機器を介した人と人との円滑なコミュニケーションの実現、あるいは人の存在や状態に応じて適切な支援をしてくれるシステムの構築などを行っています。

設計工学域

機械工学課程

暮らしと社会への貢献を目指し、最先端ロボットから日用品に至るまで、様々なものづくりに必要な技術の開発・研究を行います。

機械工学は、人類の夢である宇宙分野から航空機やロボット、さらにはわたしたちが普段使っている日用品まで、あらゆる分野のものづくりに必要な技術の開発に貢献している学問です。本課程では、21世紀の持続可能かつ安全・安心な社会を支える技術者の育成を目指して、ものづくりの基礎から最先端までの知識の修得はもとより、自己のスキルとチームワーク力を高めるための教育研究を行っています。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 2階 0321 講義室 (建物番号③)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

計測システム工学研究室 10号館 1階 104B号室

3次元計測・光応用計測・画像処理計測をキーワードに、機械材料や生体材料、流動などの複雑な現象を把握するための新しい計測法に関する教育・研究を行っています。

塑性加工研究室 10号館 1階 111B号室

金属薄板の新しい塑性加工法の開発を中心とした材料の塑性加工および塑性力学の研究を行っています。さらに、異種金属接合や木材整形に至る塑性加工に関連した幅広い研究も行っていきます。

ロボティクス研究室 10号館 1階 102号室

超軽量ロボットアームの実用化を目指した柔軟マニピュレータのモデリング・制御・衝突検出に関する研究、不規則外乱が介入する動的システム制御の研究、羽ばたき翼型飛行ロボットの研究などを行っています。

熱エネルギー工学研究室 10号館 1階 114号室

燃焼の基礎現象、ディーゼル噴霧燃焼、光学粒子計測、放射伝熱など熱エネルギーに関わる研究から、燃料電池、水素エネルギーシステムなどの新エネルギーの技術開発に至るまで幅広い研究課題に取り組んでいます。

先端材料学研究室 10号館 1階 103A号室

三次元プリンタ製金属やチタン合金を含む各種先端材料に関する基礎的研究と強度評価、複合表面改質や短時間熱処理によるチタン合金の性能改善、チタンの接合技術開発など行っていきます。

知的構造システム学研究室 10号館 1階 111A号室

振動の力学を基盤とし、環境適応・エネルギー回収・自己診断能力などを有する「賢い構造システム」を実現するために、センサーの開発、非接触超音波加振法の研究、低周波振動発電デバイスの開発等をおこなっています。

設計工学域

デザイン経営工学課程

デザイン・経営・工学を融合させた、世界で数少ない学問。
ものづくりから事業展開までをトータルにデザインします。

デザイン・経営（マネジメント）・工学（エンジニアリング）の融合領域を教育研究の対象とする、世界でも数少ない学びの場です。3つの観点から横断的かつ融合的に物事を捉えて思考を深めることで、製品等のデザインだけに留まらず、ものづくりの技術的なしくみやビジネス展開までをトータルにデザインできる力を養えることが、他の多くのデザインや工学系の学科との大きな違いといえるでしょう。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
1号館 2階 0121講義室 (建物番号②)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

デザイン経営工学課程演習室 1号館 3階 307A、310A号室

この演習室では1～3年次学生の演習を実施するとともに、学生の自習室としても使われます。1・2年次では学生個々に製図台付の机が割り当てられ、3年次生では学生間のコラボレーションを進めやすいレイアウトにしています。研究室公開では演習成果の一部を展示し、演習内容を紹介します。

環境デザイン経営研究室 1号館 4階 411号室

この研究室は、デザイン経営工学課程デザインコースの研究分野のひとつで、特に働く環境（ワークプレイス）や働き方（ワークスタイル）のあり方を、マネジメントの視点や情報関連技術（IT）を取り入れて、計画、設計、運営管理などの面から研究しています。

造形科学域

デザイン・建築学課程

「建築」と「デザイン」は生活に密接に関わる分野。
デザインによって環境保全や災害時の安全確保などの課題を解決します。

「建築」と「デザイン」をキーワードに、生活に関わるデザインのあらゆることを学びます。建築では住環境や都市環境の設計方法、構造技術といった工学的な教育研究や、既存建築物の保存・再生の教育研究を行います。デザインでは家具や自動車などのプロダクトデザイン、広告などのビジュアルコミュニケーションデザインやインタラクションデザインを学びます。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
センターホール (建物番号①)

■研究室見学 11:30～12:30 15:30～16:30

ギャラリーMOCO 東1号館 3階 エレベーターホール

デザイン・建築学課程の学生が制作した作品を中心に、廊下やエレベーターホールを使って、ユニークなギャラリーを設置しています。そこでは、さまざまな展覧会や学生の個展が開催されています。

建築コース製図室 東1号館 2階 203号室

デザイン・建築学課程では、設計や製作などの実習課題を通じて建築デザインや工業デザイン、グラフィックデザインなどを学びます。すべての学生に製図台もしくは机が与えられ、自由に制作に励むことができます。

地域創生Tech Program

理工系の知識や技術をベースに地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で協働できる技術者人材の育成を目指します。

地域創生に貢献することを最も大切な根本的意義として、地域の課題について、工学、科学技術によって解決する人材を育成することを目指したプログラムです。

1年次から3年次前学期まで松ヶ崎キャンパスで出願時に選択した課程で専門分野を学びつつ、1年次前期に「地域課題導入PBL（Project-Based Learning 課題解決型学習）」を行います。このPBLは、地域の課題に取り組み、課題解決に必要な学ぶべき方向性を各自が自覚し、本学の教員、課題提供をした自治体や企業等関係者による指導を受けます。3年次後学期に福知山キャンパスで再び地域課題に取り組み、これまで各自がそれぞれの分野で修得した専門力を駆使し、原則1年次に取り組んだ課題に再挑戦します。また、別に専門課題のPBLにも取り組み、さらに専門性を磨く意欲につなげるインターンシップも実施します。

■課程説明会 11:00～11:30 15:00～15:30
3号館 1階 0313講義室 (建物番号③)

学生と教員の共同プロジェクト事業紹介

学生フォーミュラプロジェクト“Grandelfino”（グランデルフィーノ）

私たちは全日本学生フォーミュラ大会への参戦を通して、フォーミュラカーの設計・製作を行っています。2005年度に発足し、今年度で11年目を迎えます。フォーミュラカーとはF1などで活躍しているような形のレースカーのことです。この活動を通して大学の講義で得た知識を実践し個々の能力を高めるとともに、チームワークの大切さや、ものづくりの面白さを学んでいます。

全日本学生フォーミュラ大会は年に一度開催されており、今年はガソリンエンジンクラス・EVクラスをあわせて100を超えるチームがエントリーしています。学生フォーミュラ大会は各国で同じルールのもとで行われているため、最近ではアジア諸国や欧州などから日本大会への参戦も見られます。

大会は、学生が自ら設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競うもので、競技は車検・静的審査（コスト・デザイン・プレゼンテーション）・動的審査（走行競技、燃費など）で構成されます。2012年度大会では栄えある『総合優勝』、2013・2014年度大会では2年連続『総合5位』、そして2015年度大会では『総合準優勝』という結果を残しており、私たちのチームは全国屈指の強豪校となっています。

現在、約40人のメンバーが活動しています。機械工学、電子システム工学、情報工学、デザイン・建築学など様々な課程から多様な学生が一丸となり、ひとつの車両を作り上げます。是非、私たちと一緒に活動して、日本一になりましょう！

■ 展示場所：センターホール北側広場（建物番号13）

■ 展示時間：10：30～16：30

■ 展示内容：大会ビデオ上映・パーツ展示等

Grandelfino ホームページ：<http://www.grandelfino.net/>



ROBOCON挑戦プロジェクト

「ROBOCON 挑戦プロジェクト」は「NHK学生ロボコン」での優勝を目指した、1回生から4回生までの約60名の学生と4名の教職員からなるプロジェクトです。手作りのロボットを学生自らアイデアを出し、設計・製作します。京都工芸繊維大学のチームは、「NHK大学ロボコン2007年大会」から毎年挑戦しており、今年の7月10日（日）に行われた2016年大会では、予選リーグで昨年優勝の強豪校を破り、決勝に進出してベスト8の成績を収めました。

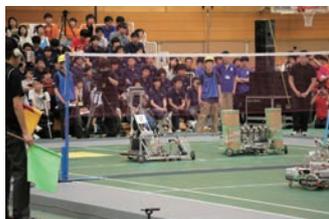
年間を通じて、NHK学生ロボコンへ向けた設計製作技術の研究や試作、勉強会などを行っているほか、内部で独自のコンテストを開催したり、他大学のロボコンチームとの合同でのロボコン大会を開催したりするなど、日々、切磋琢磨しています。今年度は近隣の大学だけでなく遠方の大学とも合同で大会を開きます。本プロジェクトでは、NHK学生ロボコンに出場するだけでなく、企業と協力して「キャチロボバトルコンテスト」という新たなコンセプトのロボットコンテストを開催しています。また、SPP（サイエンスパートナーシッププログラム）の一環として、小学校へ行き、ロボットに関する講演・展示も行っています。このほかにも、NPO法人などの外部機関から依頼を受けて、一般参加者向けの展示や操縦体験教室の実施といった、多彩な活動を行っています。

■ 展示場所：センターホール2F大会議室（建物番号11）

■ 展示時間：10：30～16：30

■ 展示内容：プロジェクトの説明パネルや実際に大会に出場したロボットの他、広報用に作られたロボットも展示します。

ROBOCON 挑戦プロジェクト ホームページ：<http://www.fortefibre.net/>



授業成果紹介

本学では、幅広い分野において、ものづくりを基盤とした「実学」を目指した個性ある教育研究を行っています。

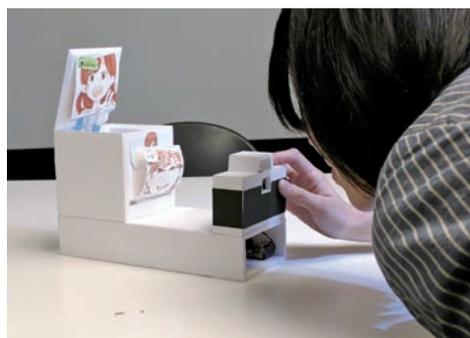
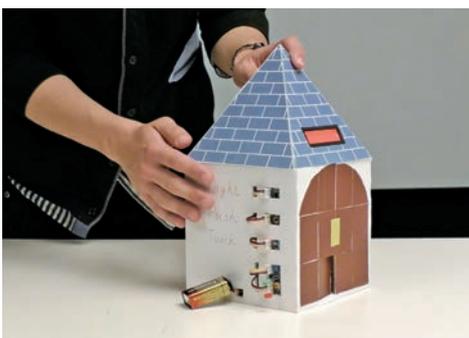
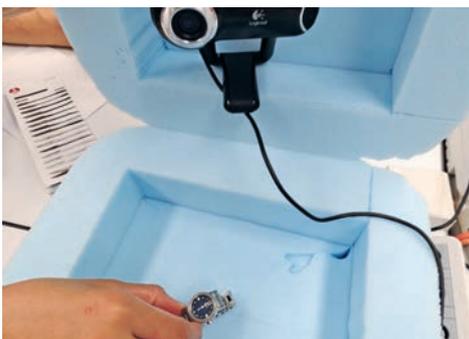
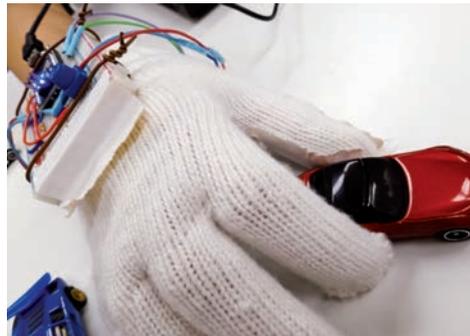
本日は、その中から実践的・横断的な授業「フィジカルインタラクションデザイン」での成果物をご紹介しますので、是非ご覧ください。

「フィジカルインタラクションデザイン」授業成果デモ展示 (協力：情報工学専攻 デザイン学専攻 デザイン経営工学専攻 KYOTO Design Lab)

情報工学専攻・デザイン学専攻・デザイン経営工学専攻の横断授業「フィジカルインタラクションデザイン」の成果をデモ展示します。『箱』や『触れる』をテーマにした作品を楽しく体験いただけます。本学の大学院生の混成チームが提案する新しい世界やモノをぜひご体験ください。

- 展示場所：東3号館1階 K101 講義室 (建物番号④)
- 見学可能時間：12：00～16：00 (デモは12：40～15：20の時間帯に体験いただけます)
- 定員：なし
- 参加費：無料

昨年までの成果は、<http://interaction-design.kit.ac.jp/> をご覧下さい。たくさんの楽しいムービーが掲載されています。



ちょっとひと息…



京都工芸繊維大学は、平成16年4月に国立大学法人として、新たなスタートをきりました。

また、同年11月には、今後の教育研究活動等の道標となる「理念」を制定いたしました。

これを機に「新理念」の精神である「知・美・技」を掲げて未来を切り拓いていこうとする本学を表現するにふさわしい新しいシンボルマークを学内公募により平成17年7月に制定しました。シンボルマークは、その理念を具体的にビジュアル化したものです。

■相対する2つの形態には、以下のような理念が込められています。

左部分の丸みを帯びたフォルムによって芸術と、既存の形式にとらわれない柔軟な感性や豊かな人間性を表現しています。右部分のシャープなフォルムは科学と、人間の理論的な知性や理性を表現しています。そしてこれらの2つが融合することによって「科学と芸術の出会い」を示したものです。さらに有機的な左部分を人間をとりまく自然環境、右部分を人間が作り出す技術と捉えることもでき、自然と科学技術の共生という意味も込められています。

■1つの根元から大きく広がりいく形態は、歴史都市京都から世界に向けて、人間・環境・産業・文化調和型の個性あふれる先端テクノロジーを発信していく様子と、それを可能にする確かな力量と豊かな感性の広がりを示しています。

■色彩は、感性を表す左部分は柔らかく伸びやかな印象を与える暖色系、理性を表す右部分は冷静で堅実な印象を与える寒色系を配し、京都の伝統と落ち着きを感じさせるトーンで統一感を出しています。

このように本学の理念である知性と感性の響き合い、知と美とが結びつき技を作り出し、伝統文化と先端科学の融合を目指す本学の姿勢が反映されています。

個人相談コーナー 受付カード

時間：10：30～16：30

場所：60周年記念館 2階大セミナー室

※相談したい課程・内容のカードを切り取って、相談担当者にお渡し下さい。

【応用生物学課程】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【応用化学系（生体分子応用化学課程）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【応用化学系（高分子機能工学課程）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【応用化学系（物質工学課程）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【電子システム工学課程】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【情報工学課程】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【機械工学課程】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【デザイン経営工学課程】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【デザイン・建築学課程】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【地域創生 Tech Program】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【ダビンチ（AO）入試】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【入試関係（入試課）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【カリキュラム、資格関係（学務課）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【学生生活、学費、進路関係（学生サービス課）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい

【留学制度、外国人留学生関係（国際企画課）】

学年：高1、高2、高3、既卒、保護者
その他（ ）※○をお付け下さい



**KYOTO
INSTITUTE OF
TECHNOLOGY**

Open Campus

0101001001011011
110101010100110101
101000100101010101110
100110101010001010101
010111001000101010101

